## 過去にとりおこなわれた活動一覧

## カンファレンス・シンポジウム

回	日付/場所	報告論題
1	2008/11/26 東館 8F 大会議室	国際シンポジウム     "Implications for State Sovereignty of EU Integration in a Transnational World"  1. EU競争法のヨーロッパ及び国内遵守確保 - 主権の共有? - ロバート・レイン エディンバラ大学  2. ヨーロッパのトランスナショナルな統合と労働組合 鈴木均 慶應ジャン・モネ EU 研究センター研究員  3. 国民投票と EU 政治の立憲化 舒旻 復旦大学経済学院欧州研究センター兼早稲田大学高等研究所客員准教授  4. リスボン条約と EU のガバナンス・システムの強化 フランク・デルマルティ・ノ ルーバン大学国際/欧州政策研究所
2	2009/7/25 東館 8F 大会議室	国際シンポジウム "The EU and the Global Economic Governance"  1. Europe and the Management of Globalization ソフィー・ムニエル プリンストン大学ウッドロー・ウィルソン公共国際問題研究 科リサーチ・フェロー  2. Institutional Power and Restraint for Leadership: The EU in the Global Trade Negotiations 明田ゆかり 慶應義塾大学講師  3. The Global Financial Crisis: the EU and Japan 嘉冶佐保子 慶應義塾大学経済学部教授  4. The European Union and the Integration of South East Asia アルフレッド・C・ロブレス デ・ラ・サール大学教授
3	2009/7/26 南館 8F ディ スカッション ルーム	第1回 日 EU 関係ワークショップ(経済・人権)  1. 金融経済危機に対する欧州の対応 嘉冶佐保子 慶應義塾大学経済学部教授  2. EU を超えて拡がる経済連携と日本 蓮見雄 立正大学経済学部教授  3. グローバルな人権保護に向けた日本及び EU 諸国の役割 土井香苗 ヒューマン・ライツ・ウォッチ東京ディレクター  4. 国際人権から見た EU・国連・東アジア 阿部浩己 神奈川大学大学院法務研究科教授
4	2009/9/19 南館 B4 ディスタンス ラーニング・ ルーム	第2回 日EU関係ワークショップ(安全保障)  1. 紛争処理をめぐる米欧関係 - 日EU関係への意味 吉崎知典 防衛省防衛研究所 第5研究室長  2. 今なぜ日EU安全保障協力か-欧州を使う新たな視点 鶴岡路人 防衛省防衛研究所研究部教官  3. EUと対人地雷政策形成 西谷真規子 神戸大学大学院国際協力研究科トランスナショナル関係論講座 准教授  4. 日本とEUにおけるバイオディフェンスフレームワーク

回	日付/場所	報告論題
		齋藤智也 慶應義塾大学助教 慶應義塾大学グローバルセキ
		ュリティ研究所研究員
5	2009/10/25 北館 3F 大会議室	第3回 日 EU 関係ワークショップ (開発・援助・人材養成)  1. EU 開発・人道援助と日 EU 関係 大隈宏 成城大学社会イノベーション学部教授  2. ヨーロッパ諸国による援助協調の行方と日本 高橋基樹 神戸大学大学院国際協力研究科教授  3. 東大 EMP が目指す課題設定・形成能力の育成と日 EU 関係 へのインプリケーション 横山禎徳 社会システム・デザイナー、東大 EMP 企画・推 進責任者  4. 日 EU 間の教育人材養成とコミュニケーションについての提 言 綿貫健治 城西大学国際学術文化振興センター (JICPAS) 副所長、城西国際大学国際教授 (特任)
6	2009/10/31 北館 3F 大会議室	第4回 日 EU 関係ワークショップ(環境・学術教育交流)  1. 地球環境問題と日 EU 環境協力の展望高村ゆかり 龍谷大学教授  2. 日・EU による国際環境ガバナンス向上への協力可能性和達容子 長崎大学環境科学部准教授  3. 日 EU 間における教育・学術交流田中俊郎 慶應義塾大学法学部教授、ジャン・モネ・チェア、EUSI 所長  4. 教育学術における欧州統合と日本大場淳 広島大学高等教育研究開発センター准教授
7	2009/12/2 スウェーデン 大使館講堂	日・EU関係の検証と展望 - 新しい課題か現状維持か? -  1. 日・EU関係 - 展望と限界 日・EU関係 - 問題と成果 アクセル・ベルコフスキー教授 ジョバンニ・マッツォッキ フェロー、パヴィア大学、イタリア 東アジア共同体の構築に向けて~欧州の経験から何を学ぶべ きか 小池洋次教授 関西学院大学  2. 通商問題 日 EU経済統合協定と相互承認アプローチの可能性 庄司克宏教授 慶應ジャン・モネ EU研究センター 韓・EU 自由貿易協定の日本への影響 パトリシア・A・ネルソン 成城大学  3. 安全保障問題 紛争と文化: 平和構築における文化関連活動の役割 福島安紀子 国際交流基金特別研究員 安全保障と発展の連関 ポール・ミッドフォード准教授 NTINU 国際法制度に対する環境問題の影響:将来スキームへの日・ EU の貢献の可能性 萬歳寛之教授 早稲田大学
8	2010/6/26 東館 8F 会議室	国際シンポジウム  "Implications of European Integration for the State and Sovereignty in a Transnational World"  1. EUのアジア対外関係 セバスチャン・ベルシック

	日付/場所	報告論題
	H13 · 2///	アイルランド国立大学(コーク)
		2. インテル事件判決と支配的地位にある企業の行動に対する
		EUの新基準
		シェー・クオリン准教授 世新大学法学部(台湾)
		3. 変化と日 EU 関係:経済およびビジネス組織に着目して
		パトリシア・ネルソン 慶應義塾大学法学研究科客員教授 4. アジアの視点からみた EU
		4. アンアの祝点からめた EU マーティン・ホランド教授
		カンタベリー大学(ニュージーランド)
		国際シンポジウム
		G8 サミットにおける議長国外交 - 多国間外交の歴史と現在
		1. 欧州統合の歴史と教訓
		ECの閣僚理事会における議長国輪番制
		ヴィルフリード・ロート デュイスルク・エッセン大学教授
		サミットの促進要因として機能した対日貿易摩擦
		鈴木均 新潟県立大学専任講師
		2. G7サミットの発足
		オリヴィエ・ジスカールデスタン キャノン欧州財団理事
		シェルパとしての経験
	2010/7/16-17	小倉和夫 国際交流基金理事長
9	東館 6F	冷戦後のサミット外交と日本
	G-SEC ラボ	猪口孝 新潟県立大学学長
		3. 近年のサミットと議長国外交 福田政権の洞爺湖サミット外交
		一個田政権の利耶所リミット外交   信田智人 国際大学研究所教授
		「日中自人」国际人子研究的教授 フランス大統領サルコジによる EU 議長国外交
		パスカル・ヴェネッソンの州大学院教授
		4. サミットに加わる新しいメンバー
		中国のサミット外交
		朱杰进 上海外国語大学助教授
		NGO とサミット
		アピチャイ・シッパー 南カリフォルニア大学教授
	2011/7/9	"Abuse of Dominance under Article 102 TFEU: Towards
10	南館 4F	Differentiated Standards?"
	会議室	Prof. Giorgio MONTI, European University Institute
		EU 法ワークショップ「EU 法の現在と日本法への示唆」
10		(日本大学法学部比較法研究所主催、慶應ジャン・モネ EU 研究センター共催)
		研究センター共催) 1. 開会の挨拶 比較法研究所長・松嶋隆弘教授
		1. 用去の疾移 に収/広崎元州で、仏崎隆近郊校 2. 基調講演「EU 法の現在とその意義」
		加藤紘捷教授
	2011/11/18	3. 日 EU 間経済連携協定における相互承認原則の比較法的考察
	日本大学法学	庄司克宏・慶應義塾大学教授 ( Jean Monnet Chair )
	部 10 号館 3	4. EU 取引法と日本民法への示唆
	階 1032 講堂	長谷川貞之教授
		5. EU 会社法と日本の事業体法制 欧州私会社 (SPE: Societas
		Privata Europaea)を中心として
		松嶋隆弘教授
		6. 租税法における濫用の法理 欧州司法裁判所と我が国の最高
		裁判所における判決を比較して
		今村隆・日本大学大学院法務研究科教授

回	日付/場所	報告論題
		7. 航空排出権紛争の行方
		工藤聡一教授 8. 閉会の挨拶 加藤紘捷教授